

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立新座総合技術高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が示されている学校像である。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、学校を取り巻く環境や時代の変化、生徒の変容などに応じて、学校に求められる期待やニーズを広く検討し、次のステージに向けた学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえるとともに、「社会人基礎力」を目標に入れるなど生徒に求められる姿を踏まえて重点目標が設定されている。長らく同様の目標が続いているので、学校の課題解決のために新たに取り組もうとしている、生徒一人一人の自己有用感の育成や基礎学力の向上を含む、具体的な目標となるように工夫することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて学科・学年・分掌・教科のシートが作成され、取組が進められている。学科・学年・分掌・教科間の連携を図り、学校の課題についてよく議論しながら方策を検討・策定する体制を整備して、教職員全体の目線合わせを促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	前年度に比べ、方策の評価指標が現状分析に基づいて整理されている。全体的には方策が前年踏襲型となっているので、生徒が抱えている課題を意識して選択と集中を図り、より具体的なものにするとともに、方策と指標を連鎖させることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が6学科間を俯瞰して学校全体の中・長期的な課題を析出し、学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、全教職員が現状に満足せず目標達成に向けて共通理解を深め、学科の枠を越えて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者のアンケート結果を教職員に示し、達成状況や課題の共通理解を図ろうとしている。保護者アンケートについて課題の析出や方策の見直しに有効に活用できるよう実施方法等を一層工夫し、学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に詳細に分析して達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			